

第6回
八潮市庁舎建設基本計画策定審議会
説明資料

平成31年1月15日

八潮市企画財政部
アセットマネジメント推進課

審議会開催スケジュール

回	議題・報告事項
第1回（7月5日）	①諮問 ②基本構想内容の確認 ③審議会開催スケジュール ④複合・集約化方針（素案）
第2回（8月20日）	《複合・集約化方針の決定を受けて》 ①複合化・集約化を検討する公共施設機能 ②新庁舎建設候補地の検討
第3回（10月26日）	①求められる機能
第4回（11月29日）	①新庁舎の規模 ②配置計画 ③構造計画 ④概算事業費
第5回（12月27日）	①建築デザイン計画 ②事業手法 ③財源計画 ④事業スケジュール ⑤基本計画素案のまとめ （審議会への諮問対象部分） ⑥答申案
第6回（1月15日）	①基本計画素案の確認 ②答申案の確認 ③答申

●答申後、基本計画策定までのスケジュール(予定)

時期	内容
1月18日	パブリックコメント（意見募集）受付開始
1月22～26日	市民説明会（5回開催）
1月下旬	【市議会（公共施設整備等調査特別委員会）】 基本計画素案及び市民説明会の報告
2月18日	パブリックコメント（意見募集）受付終了
2月下旬	【市】パブリックコメント結果の確認 基本計画案まとめ
2月下旬	【市議会（公共施設整備等調査特別委員会）】 市からパブリックコメント結果の報告 基本計画案の承認
3月下旬	【市】（議会からの意見を踏まえ）基本計画の策定

《前回(第5回)審議会のふいかえい》

■ 建築デザイン計画について

意見／質問	対応
「建築デザイン計画」とは思想のことか、意匠のことか。	思想のことと捉えている。
なぜ建築デザインだけが取り出されて思想が記載されているのか疑問である。	求められる機能と重複する部分はあるが、求められる機能は庁舎部分のみ、建築デザイン計画は周辺も含めた考え方としてまとめている。
建築デザインの考え方が分かりづらい。「周辺環境と調和」と「緑と調和」は似通っている。「シビックセンター中心核」も公園との一体感を謳っているため似通っている。記載順を整理した方がよい。また「八潮らしさ」というキーワードがなくなっている。「飽きのこないシンプルなデザイン」という表現が「八潮らしさ」と相反すると感じる方もいると思うので書かない方がよい。 ----- 景観まちづくりとの兼ね合いで建築デザインを記載されていると思う。太文字部分は微修正で良いと思うが、解説に工夫が必要。シンプルという言葉は一般の方にはイメージが固まりすぎてしまう。「飽きのこないシンプルなデザイン」は削除しても良いのではないか。(議長)	担当部と協議をした記載であるため、ご意見として頂戴し、再度庁内で検討する。
④はデザインでなく目的に近いので最初の文章に入れるべきではないか。また、③に八潮らしさの話を入れるべきではないか。	

■ 「八潮らしさ」についての意見

意見／質問
基本計画としては一般的な内容という印象である。八潮らしさが感じられない。
基本計画でどこまで書き込むかという問題はある。現状ではなかなか表現しにくい。これから八潮らしさをつくってもらいたいという期待を表現するべきか、基本計画は一般的な記載に留め設計者の提案に期待するか、基本計画には載せないが審議会の意見として議事に残すという方法もある。 ここで皆様と確認したいのは、標準的なオフィスビルをつくることではないという認識。市役所だけでなくシビックセンター全体で八潮らしさをつくっていく。公園でゆったり過ごすライフスタイルがこれからの八潮らしさかもしれないし、今あるものだけでなくこれからのものも含めた八潮らしさかと思う。
委員の皆様にお聞きするが、「八潮らしさ」とはなんだと考えているか。
キーワードとしては、「川に挟まれた地域」「田んぼの広がる田園風景の平野」「夕方には筑波山、朝には富士山が見える」。その発展として中川の周辺を遊びの場として整備してきた。八條の地域では田園風景を残しながらどう開発していくかが課題となっている。

<p>日立市役所では廊下を外側に回し、市役所のどこからでも海が見えるようにした。効率的ではないが、「日立らしさ」には重要だった。直接的なデザインでなく、その場所で感じるものが「らしさ」につながっていくのではないかと。庁舎と連続した公園の例示としてパースが掲載されているが、もっと挑戦的なものがよい。吉川市役所はシンプルだが、隣接した市民交流施設の方が主役ということで市役所はシンプルで良いという考え方かと思う。</p>
<p>色や形など市民が固執するような話がない。固執すると意見が割れるかもしれないが、それが魅力になると思う。これから伝えていきたい想いを計画に盛り込みたい。</p>
<p>緑や木材を取り入れてはどうか。保健センターなど一部だけでもぬくもりが感じられるようにしてはどうか。方針ではなく、審議会の意見として。</p>
<p>武雄市の図書館が素晴らしい。心地がよく、海外からも見学者がくる。市長が強い意志で作ったものであると思う。小さい町だからできないわけではないと思う。</p>
<p>公園や保健センターもあるので、単に手続に来るのではなく、楽しく過ごせる場所になるとよいのではないかと。</p>
<p>市民大学に通っていたが、なかなか八潮の特徴を感じない。新庁舎が「八潮らしさ」のひとつになってはどうか。</p>
<p>八條図書館に池の傍で本が読める空間があり、くつろいでいる方や遊んでいる子どもがいる。庁舎がそういう空間になるべきかは別の問題だが、水辺空間は憩いの場になっている。</p>
<p>ここから新しい八潮らしさが始まるような文章、市役所が心地よく、みんなでこれからの八潮らしさをつくっていく場となるような記載にしていきたい。</p>
<p>全体の流れを含めて事務局で再考していただきたい。</p>

■事業手法について

意見／質問	対応
意見なし	—

■財源計画について

意見／質問	対応
意見なし	—

■事業スケジュールについて

意見／質問	対応
庁舎オープン時期をこの時期にしなければいけないという理由はあるか。あくまで目標か。	2024年（平成36年）1月はあくまで現時点の想定であり、なるべく早期に整備することが目標である。

■答申(案)について

意見／質問	対応
意見なし	—